

中学校 高等学校 | 学園祭レポート2015

テーマ

Llion

■芸能祭 9月22日(火)
23日(水)

■体育祭 9月28日(月)

高等学校



中学校



テーマ

Popcorn Party

■芸能祭

9月30日(水)
10月1日(木)

■体育祭

10月3日(土)

今

年度の学園祭は、「We can fly」を方針に掲げ、「Popcorn Party」をテーマとしました。

学園創立110周年を記念するパーティをイメージし、互いの違いを尊重し合って学園祭を盛り上げようという思いが込められています。

年度の学園祭のテーマは「Llion」。今年、本学園は110周年。全校生徒が一つに団結し、百獸(ひやくじゆつ)の王・ライオンの元気な躍動することを目標としました。本来の綴りである「lion」に「i」を一つ重ねたデザインは、Llionの部分で110周年を想起させました。

この夏は雨天が続いたこともあり、準備の遅れが心配されました。しかし、わずかな晴れ間、少しのスペースを見つけてコツコツと準備を進め、どのクラスも万全の状態で本番を迎えることができたようを感じます。

21日、前日祭である「ライオンカーニバル」が開催されました。全クラスが11秒間で自分のクラスのアピールをした後、全員が「オーーー」の掛け声でひとつにまとまりました。

22日の本番当日は、穏やかな陽気となり、839匹のライオンたちは

力強く躍動を始めました。大アリーナではミュージカル・演劇・サウンドクリエイティブの各部門が練習の成果を出ししきり、大きな感動を作り出しました。校舎内では展示部門が教室いっぱいに壮大な展示を行い、見学者を驚かせました。中庭では模擬店・ステージが芸能祭に華を添えました。

体育祭は、残念ながら雨で順延となつたものの、翌週には「淑徳晴れ」のもと、元気でパワフルな淑徳生の姿が見られました。

祭りの熱気は後夜祭まで冷めることなく、学校中が大いに盛り上がりました。

一人ひとりのたぐましさと、仲間と一緒に助け合いつぶ姿が数多く見られた、今年度の学園祭。力強さと思いやりの心を兼ね備えた淑徳生は「百獸の王」になれたのではないでしょうか。

1学期からクラスで取り組む音楽・演劇の準備が進められ、夏休み中も活動。仲間との対立や葛藤なども乗り越えて練習を重ねました。美術・後夜祭の実行委員会では、クラス・学年を越えた有志が集まり、学園祭を彩る垂れ幕や看板などの制作、イベント企画などに奮闘しました。

芸能祭当日、大アリーナの舞台で集中して力を出し切った生徒たち。上演後は弾ける笑顔で達成感を分かち合っていました。また、今年の展示はスペースを拡大。各教科や文化系クラブ、生徒会執行部の発表などの作品が展示され、生徒たちの豊かな活動を知る貴重な機会となりました。



体育祭では、見事な秋晴れのもと、生徒たちは互いに力一杯競い合い、スポーツの楽しさを味わいました。縦割り応援では3年生がリーダーシップを發揮し、白熱の応援合戦で会場を沸かせました。フィナーレを飾ったのは淑徳杯。各クラスの選抜チームが熱戦を繰り広げました。

そして実行委員会が進行役を務めた後夜祭は、もりだくさんのプログラム。躍動感のあるダンスや腕自慢によるパンチ、吹奏楽の演奏に加えて、中学生らしい樂しさあふれる「そつくり・キハマネコ」の「テスト」が行われました。演じ手と観客との一体感のあるステージとなり、エンディングでは生徒会執行部のリードのもと参加者全員で「学園天国」を歌い、学園祭を賑やかに締めくくりました。